

GLORY

証券コード：6457

# GLORY REPORT

グロ - リ - レポ - ト

P.1

## トップメッセージ

『2020中期経営計画』の施策を  
着実に実行し、次期中期経営計画の  
スタートにつなげてまいります

P.3

## 財務ハイライト

P.4

## TOPICS

P.5

## 特集1 Close Up!

マスク着用でも本人認証が可能な  
新ウォークスルー型顔認証システムを開発

P.6

## 特集2 Close Up!

株式会社アドインテと資本業務提携し  
デジタルトランスフォーメーションを推進

P.7

## 会社情報・株式情報

第 **75** 期  
中間報告書

2020年4月1日から  
2020年9月30日まで

グローリー株式会社

## TOP MESSAGE

『2020中期経営計画』の施策を  
着実に実行し、次期中期経営計画の  
スタートにつなげてまいります

代表取締役社長

三和元純



### 2021年3月期上半期の経営環境と業績

#### 前年同期に比べ減収減益

当上半期の連結業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年同期に比べ減収減益となりました。

海外市場においては、米国・欧州では、依然として事業活動に大きな制約を受けており、金融市場向け「紙幣入出金機」及び流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売が低調でありました。一方、中国での事業活動は概ね平常通りまで回復し、「紙幣入金整理機」の販売が堅調でありました。

国内市場においては、金融市場及び流通・交通市場では、商談の延伸やお客さまのご意向により納品ができない状況が発生したことから、金融市場向けの主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」、流通・交通市場向けの主要製品である「レジつり銭機」及び「券売機」の販売が低調でありました。遊技市場では、ホールの営業自粛が解除され、営業活動を再開しましたが、商談の延伸や設備投資抑制の影響により、主要製品である「カードシステム」及びホール向け「賞品保管機」等の販売は低調でありました。

## 『2020中期経営計画』の進捗状況

### 市場ニーズに応える製品・サービスの販売に注力

国内市場では、金融市場において、少人数運営を目指した次世代店舗スタイルを実現する製品やソリューションの提案に注力いたしました。流通・交通市場においては、ドラッグストアや専門店を中心とする非対面業務への移行ニーズを受け、「レジつり銭機」や「券売機」などセルフ型製品の販売拡大を図りました。また、会計待ち時間をゼロにする医療費後払いシステムも市場ニーズを捉え、多くの医療機関より受注いたしました。さらに、新たな分野への事業展開として、データアナリティクス技術の活用によるDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速すべく、独自開発のIoT端末による取得データをもとに小売店舗分析等を行う株式会社アドインテと資本業務提携契約を締結いたしました。(P.6ご参照)

海外市場では、金融市場において「紙幣入金機」の販売を推進し、流通市場においては、セルフチェックアウトを実現する「CASHINFINITY™」シリーズの提案に注力いたしました。当上半期は、アメリカ最大級のディスカウントストアより、同シリーズ製品である「紙幣硬貨つり銭機<CI-10>」を大口受注しております。また、本年4月に買収したフランスAcrelec Group S.A.S.とのシナジー効果の創出に向けた体制強化等を推進いたしました。

新事業においては、マスクを着用したまま本人認証を可能とする「ウォークスルー型顔認証システム」を開発し、本年6月より販売を開始しております。(P.5ご参照)

## 当期の業績見通しについて

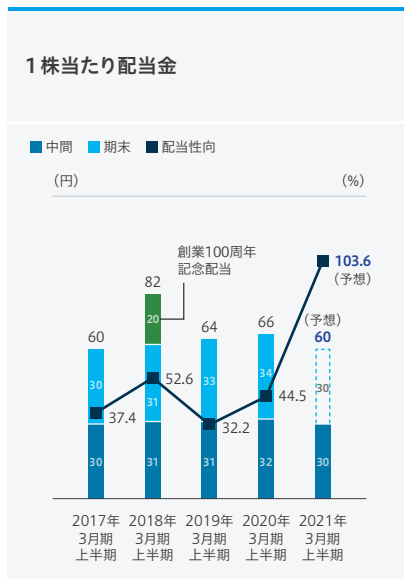
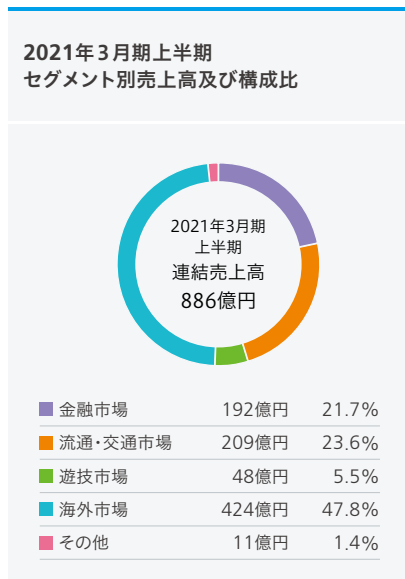
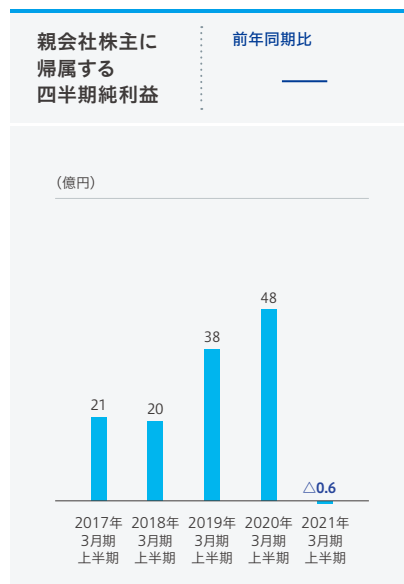
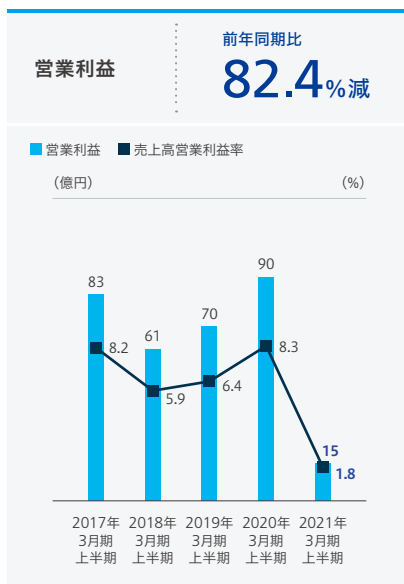
### 利益体質を強化

新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、人々の価値観や行動様式が変化するとともに、国内外を問わず“レスキャッシュ”、“レスタッチ”の流れが加速する可能性があります。金融市場や流通市場においては、さらなる省力化、省人化、非対面化へのニーズが高まると想定され、現金管理業務や精算業務等の自動化とともに、決済のセルフ化、タッチレス化が進むと考えております。当社グループでは、これらの変化を確実に捉え、金融市場では、次世代店舗スタイルを実現する製品・ソリューションの提案、流通市場では、セルフチェックアウトシステムの導入を加速してまいります。

これらの取組みを着実に実行し、通期の連結業績につきましては、本年8月7日に公表いたしました予想の通り、売上高2,100億円を見込んでおります。利益につきましては、第2四半期連結累計期間における経費支出の抑制効果と第3四半期以降に見込む保守売上高増加を勘案した結果、当初予想を上方修正し、営業利益80億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円といたしました。当社グループは、『2020中期経営計画』の施策を着実に実行し、引き続き収益の拡大に全力で取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト



配当方針及び当期の配当について

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標に配当を実施することとしております。この方針に基づき、中間配当につきましても、1株当たり30円とさせていただきます。期末配当につきましても、30円(年間60円)を予定しております。

## TOPICS

### 4月 フランスAcrelec Group S.A.S.の

#### 発行済株式80%を取得

セルフサービスキオスクを世界80カ国の大手ファストフードチェーン店や小売事業者に提供するAcrelec社を子会社化。国内外の流通店舗に向け、感染症へのリスク低減等にもつながらセルフチェックアウトシステムの販売を加速します。

#### マスク着用でも本人認証が可能な 新ウォークスルー型顔認証システムを開発

特集1 Close Up! - P.5

### 5月 株式会社アドインテと資本業務提携契約を締結

特集2 Close Up! - P.6

### 7月 世界的ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」 及び「FTSE Blossom Japan Index」の 構成銘柄に選定

グローバル インデックスプロバイダーであるFTSE Russell社より、ESG（環境・社会・ガバナンス）について優れた対応を行っている企業として選定されました。

#### TBS系列日曜劇場「半沢直樹」撮影協力

「半沢直樹」の主要な舞台となった  
“東京中央銀行”で、重要物管理システム  
〈BK-100シリーズ〉が使用されました。

重要物管理システム ▶  
〈BK-100 シリーズ〉



各トピックスの詳細は、  
公式ウェブサイト「最新情報」をご覧ください。

<https://www.glory.co.jp/news/>

### 8月 海外金融機関向けロビーセルフ機 〈G-200〉の販売を開始

現金の入出金に加え、小切手の処理、公共料金の支払いや両替等への対応が可能。ロビーに設置し、利用者自身が操作することで、少人数での店舗運営を実現します。全世界の金融機関に向け、順次販売してまいります。



▲ロビーセルフ機〈G-200〉

#### ロボットシステムインテグレーション事業 「ASROF」オンライン展示会を開催

withコロナ時代の新たな生産現場の構築支援に向け、当社独自の認識技術を活用した協働ロボットによるお菓子のピック&プレイスや、当社製マルチハンドを搭載したヒト型双腕ロボットによる箱詰め作業をご紹介します。



#### 発行のお知らせ

##### アニュアルレポート2020

2019年度の業績や事業活動についてご報告しています。特集として、当社海外事業の優位性やM&Aの動向など事業展望に関する海外カンパニー長へのインタビューをご紹介します。（英文のみ）



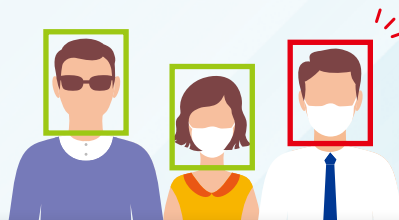
##### CSR報告書2020

2019年度のCSRへの取組みについてご報告しています。特集として、社会全体で効率的な現金の流れを実現する、通貨流通スタイルの創出に向けた取組みをご紹介します。



## 特集1 Close Up!

# マスク着用でも本人認証が可能な 新ウォークスルー型顔認証システムを開発



当社は、新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策としてマスクの着用が進むなか、マスク着用時でも高精度な認証を可能とする新ウォークスルー型顔認証システムを開発し、本年6月より販売を開始しております。

当社の顔認証システムは、2003年に実用化されて以来、スーパーマーケットやドラッグストア、病院、介護施設、書店等、約1,000カ所でご採用いただいております。安全性と利便性を両立する技術として、防犯や見守りなどのセキュリティ対策に加え、本人確認を必要とするさまざまな用途で活用されています。

POINT  
1

### 厳しい認証環境における認証精度を向上

ディープラーニング(深層学習)を用いることで、マスクやサングラスの着用、逆光や暗所等、厳しい認証環境における認証精度を従来比で10倍以上向上させました。

POINT  
2

### 最大1,000店舗の顔情報などを一元管理

複数店舗展開する小売業において、店舗間で顔情報等のリアルタイムな共有や検索が可能となり、防犯対策等に貢献します。

POINT  
3

### 誰にでも使いやすいインターフェース

使用頻度の高い機能や動線を徹底的に分析することで、初めての方でも直感的な操作ができるインターフェースを実現しました。

インターフェース

マスクや  
サングラスを  
着用しても高精度な  
認証が可能

来店回数も  
認識



注目  
ターゲットを  
特定

## 特集2 Close Up!

# 株式会社アドインテと資本業務提携し デジタルトランスフォーメーションを推進

当社は、『長期ビジョン2028』における事業領域拡大に向け、データアナリティクス技術を活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)\*を推進しています。本年5月に資本業務提携を行った株式会社アドインテ(以下、アドインテ社)は、独自開発のIoTハードウェア端末で取得したデータを基に、店舗の顧客分析やクーポン・広告等の配信を行うことで顧客の行動変容を促し、集客や創客につなげるサービスを提供しています。アドインテ社との協業により、当社のお客さまである流通店舗や飲食店等における社会課題や経営課題を解決する新たなソリューションの創出を目指してまいります。

\*データやデジタル技術を活用し、製品やサービス等を変革することで、人々の生活をよりよく変化させること

## 株式会社アドインテの概要



本社所在地	京都市下京区
設立	2009年4月3日
従業員	95名(2020年10月31日現在)
事業内容	店舗の集客率を上げるサービスの提供及びWeb広告事業、リテールメディアの開発・運用等

来店・入店を誘導し、  
購買を促進



クーポン配信



広告による  
新たな収益を創出



広告配信

### シナジー 1

#### 店舗の経営課題に応える サービスの提案が可能に

店舗に設置する当社製品にアドインテ社のIoTハードウェア端末を取り付け、顧客の行動データを当社製品の購入履歴情報と連携して分析。お客さまサービスの向上や業務フロー改善に向けた提案が可能になります。



分析



当社製品に取り付けたIoTハードウェア端末

### シナジー 2

#### 新たなソリューション を創出

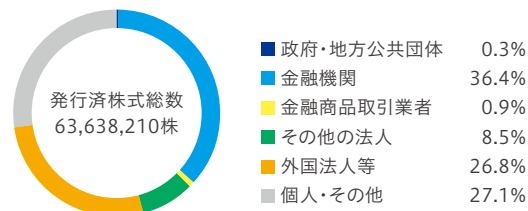
アドインテ社が持つデータ収集・分析技術と、当社製品を組み合わせることで、新たなソリューションを創出します。

## 会社情報・株式情報

### 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式2,866,078株を含む)	63,638,210株
株主数	10,516名(前期末比1,452名増)

### 所有者別株式分布状況



### 会社概要

商号	グローリー株式会社		
設立	昭和19年(1944年)11月27日		
資本金	12,892,947,600円		
従業員数	3,562名(連結10,565名)(2020年9月30日現在)		
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)		
事業所等	本社・本社工場、東京本部、品川事業所、 埼玉工場、姫路物流センター、他支店等102拠点 グループ会社89社(うち海外75社) (2020年9月30日現在)		
役員一覧	代表取締役会長	尾上 広和	
	代表取締役社長	三和 元純	
	取締役	尾上 英雄	
	取締役	馬淵 成俊	
	取締役	小谷 要	
	取締役	原田 明浩	
	社外取締役	井城 讓治	
	社外取締役	内田 純司	
	取締役(監査等委員)	藤田 亨	
	社外取締役(監査等委員)	濱田 聡	
	社外取締役(監査等委員)	加藤 恵一	

### 大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,852	6.1
日本生命保険相互会社	3,427	5.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,677	4.2
グローリーグループ社員持株会	2,419	3.8
株式会社三井住友銀行	2,100	3.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	2,021	3.2
タツボーファッション株式会社	1,500	2.4
グローリー取引先持株会	1,109	1.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1,071	1.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	958	1.5

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式2,866,078株があります。

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。 [公告掲載URL] <a href="https://www.glory.co.jp">https://www.glory.co.jp</a>
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(各種お問合せ先/ 郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	<a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

